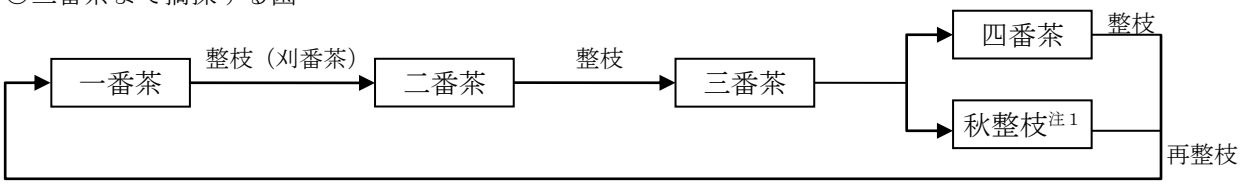
農薬の適正使用にかかわる茶園における摘採作業と同様とみなす作業の判断

※下図の枠内の作業を「摘採と同様と見なす作業」とし、農薬使用回数がリセットされると判断する。

＜成木園・幼木園の一般摘採園＞

○三番茶まで摘採する園

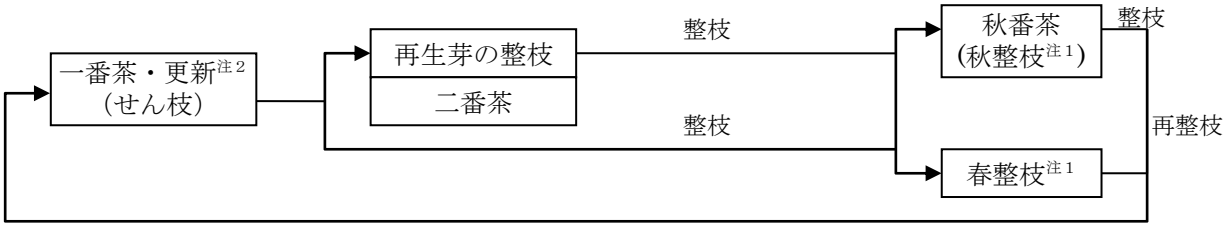


○　二番茶まで摘採する園

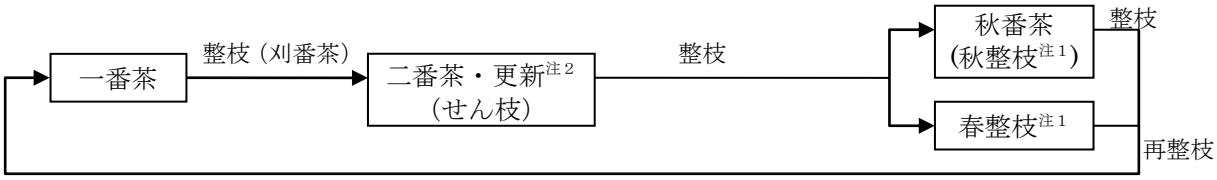
・一番茶のみ摘採する園(山間地茶園の一部)

＜成木園の当年更新（せん枝）園＞

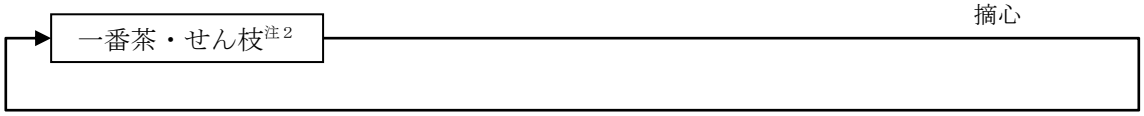
○一番茶後更新(中切り、深刈り、浅刈り)



○二番茶後更新(深刈り、浅刈り)



＜自然仕立て園（幼木園、玉露園、てん茶園など）の手摘み園＞



注１：秋整枝、春整枝や一番茶のみ摘採する園での二番茶芽の刈り落とし、更新園での再生芽の整枝で、摘採とほぼ同様の深さで刈り落とす場合は、摘採作業と同様の作業とみなす。

注２：更新・せん枝をする茶園では、その時点を摘採と同様の作業とみなす。